

# 令和4年度 事業報告書

## 共同生活援助

## 風sunホーム

### 目次

1. 利用者の状況	2
2. 日中活動	3
3. 職員配置	3
4. 職員研修	4
5. 見学の受け入れ	5
6. 地域活動	5
7. 外出代替テイクアウト	5
8. 避難訓練	6
9. 保健衛生	6
10. 苦情相談	8
11. 事業計画等に対する評価	8

# 令和4年度 事業報告

平成17年度より開設した「風sunホーム」は、介護サービス包括型の共同生活援助事業所として、年度の途中に全6棟から全5棟に縮充して、24名の利用者へのサービス提供を継続した。

高齢化の進む「なぎさホーム」において、要介護認定を受けた男性利用者が、養護老人ホームへの入所のため、9月に退所した。このことにより、利用者の減員が進む「あらはまホーム」は、行政とも相談を重ねて他の5棟での再編成を図ることにより12月をもって閉所した。再編成により「なぎさホーム」は、1階・2階を分けて男女混合棟に改編したが、夜間も世話人が支援する環境の中で安定した生活を提供することができた。

10年を経緯する「なかはまホーム」の契約を、年度末に更新して延長した。外壁や屋根および玄関を中心にリフォームの恩恵に与り、利用者の生活に潤いをもたらした。

各ホームでの月例の世話人会議において、サービス等利用計画に基づく個別支援計画を確認して、利用者一人ひとりの想いに寄り添う支援の提供に心がけた。また、相談支援事業者の開催するモニタリング会議に参加して関係事業所および行政機関との連携を図りながら情報を共有することで、利用者の安定した生活に寄与することができた。今後もバックアップする松風の里との連携を強みとして、利用者の安全安心な生活を保障する。

3年を経緯する「新型コロナウイルス感染症」への対策として、行政の指導の下、予防ワクチンを職域接種の形態で5回目までを追加することができた。圏域の感染状況を見極めながら、自粛を余儀なくされる外出を代替してテイクアウトを活用し、各ホームでの会食を楽しんだ。

保健衛生面では、利用者の重度加齢化に伴う心身の変化が進んでおり、各種検診や通院を支援した。健康状態を維持するための食事や運動面でのサポートについて、支援者間で共通の認識をもつように努めた。歯磨き支援の定着から数名の利用者が、歯科医院への受診を継続した。

防災対策として、消防法による防火安全体制を構築するため、各ホームにおいて年2回以上の避難訓練を継続した。水害において避難区域に指定されているホームについては、大雨による避難勧告の設定のもと、避難場所への移動訓練を追加した。

利用者の人権擁護に資する「障害者虐待防止法」および「障害者差別解消法」等の理解について「ホーム職員行動規範自己評価票」を作成して、世話人会議において反映した。

世話人との情報交換のため、管理者との面談の機会を設定して契約の更新に繋げた。各種研修会の計画は延期したが、職員の外部研修会については、オンラインを活用して参加した。

以下、令和4年度の事業を報告する。

# 1. 利用者の状況

(令和5年3月31日 現在)

## (1) 出身市町村別人数

利用者 \ 市町村	柏崎市	刈羽村	計
男性	12	0	12名
女性	11	1	12名
計	23	1	24名

## (2) 年齢別人数および平均年齢

利用者 \ 年齢	~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~	計
男性		1				1	3		2	1	1	3	12名
女性			1	2	1	1	1	6					12名
計		1	1	2	1	2	4	6	2	1	1	3	24名

  

利用者 \ 年齢	最高年齢	最少年齢	平均年齢	全体平均年齢
男性	72歳	22歳	54歳	49歳
女性	54歳	28歳	44歳	

## (3) 知的障害の障害支援区分別人数

[平均区分 3.17]

利用者 \ 区分	1	2	3	4	5	6	計
男性	2	3	2	4	1		12名
女性		2	4	5	1		12名
計	2	5	6	9	2		24名

## (4) 身体障害の症状別重複者

利用者 \ 症状	聴覚	言語	肢体不自由			計
			上肢	下肢	体幹	
男性			1			1名
女性						
計			1			1名

## (5) てんかんおよび精神障害の症状別重複者

利用者 \ 症状	てんかん	統合失調症	精神症状	計
男性	2	1	1	4名
女性	3	1	3	7名
計	5	2	4	11名

## (6) 動向

- ◇ 9月 1日 (木) 「なぎさホーム」男性1名が、養護老人ホーム「御山荘」への入所のため退所した。
- ◇ 「あらはまホーム」の閉所に伴い、
  - 11月14日 (月) 「風sunホーム」女性1名が、「風の丘ホーム」に移籍した。
  - 11月18日 (金) 「あらはまホーム」女性1名が、「なぎさホーム」に、「風sunホーム」女性1名が、「なぎさホーム」に移籍した。
  - 11月22日 (火) 「あらはまホーム」女性2名が、「風sunホーム」に移籍した。

## 2. 日中活動

サービス管理責任者、支援員、世話人が、日中活動先の事業所と連携し、5ホーム24名（男性12名・女性12名）の利用者の地域における生活を支援した。

	名称 (住所)	開設年 月	利用者の状況				就労等おもな日中活動の場	援護の 実施者
			利用者	性別	年齢	要 介護		
①	風sun ホーム (松波)	平成 17年 4月	あ	女	54		たいようSOCIOセンター	柏崎市
			い	女	54		こすもす作業所	柏崎市
			う	女	50		喫茶めぐ、元気館障害者デイサービスセンター	柏崎市
			え	女	39		かしわハンズ	柏崎市
			お	女	31		たいようSOCIOセンター	柏崎市
②	なぎさ ホーム (原町)	平成 18年 4月	か	男	72	1	なごみ荘デイサービス	柏崎市
			き	男	70	2	にしやまの里	柏崎市
			く	男	60		にしやまの里	柏崎市
			け	女	50		たいようSOCIOセンター	柏崎市
			こ	女	41		喫茶めぐ、にしやまの里	刈羽村
③	風の丘 ホーム (藤元町)	平成 18年 10月	さ	女	54		にしやまの里、元気館障害者デイサービスセンター、松風の里	柏崎市
			し	女	52		たいようSOCIOセンター	柏崎市
			す	女	48		にしやまの里、元気館障害者デイサービスセンター、松風の里	柏崎市
			せ	女	31		喫茶めぐ	柏崎市
			そ	女	28		松風の里「パート清掃員」	柏崎市
④	なかはま ホーム (中浜)	平成 25年 4月	た	男	70		かしわハンズ	柏崎市
			ち	男	69		柏崎市身障者福祉作業所	柏崎市
			つ	男	56		たいようSOCIOセンター、アトリエほつけ	柏崎市
			て	男	55		かしわハンズ	柏崎市
			と	男	45		たいようSOCIOセンター	柏崎市
⑤	やまもと ホーム (山本)	平成 28年 4月	な	男	48		にしやまの里、松風の里	柏崎市
			に	男	45		たいようSOCIOセンター、にしやまの里	柏崎市
			ぬ	男	42		たいようSOCIOセンター	柏崎市
			ね	男	22		かしわハンズ	柏崎市

## 3. 職員配置

共同生活援助に係る職員を、以下の人員で配置した。

職	種	員数	備考
管 理 者	(松風の里 園長 兼務)	1	社会福祉士
サービス管理責任者	(松風の里 支援課 兼務)	1	
世 話 人	日 勤	16	
	夜 勤 【なぎさホーム、風の丘ホーム、やまもとホーム】	10	
支 援 員	(松風の里 支援課 兼務)	3	介護福祉士
事 務 員	(松風の里 庶務課 兼務)	1	
計		32名	

#### 4. 職員研修

##### (1) 職場内研修

コロナ禍のため、職場内における資質向上に寄与する各種研修を実施することができなかった。

月 日 (曜)	内 容	参 加 者	
		世 話 人	職 員
	[実施なし]		
計	回	名	名

##### (2) 職場外研修

コロナ禍のため、職場外における関係機関の研修をオンラインにより受講した。

月 日 (曜)	内 容	参 加 者	
		世 話 人	職 員
8. 26 (金)	第33回全国グループホーム等研修会 『笑顔で一步 地域の中で』		1
9. 9 (金)	新潟県サービス管理責任者 更新研修		1
1. 18 (水)	北陸地区「地域支援部会・相談支援部会」 合同研修会		1
計	3 回	名	3 名

##### (3) サービス担当者会議

相談支援事業者が作成した、利用者一人ひとりの「サービス等利用計画」における「モニタリング会議」に参加し、各事業所間の連携をはかり、世話人へも周知して利用者の支援にあたった。

事業所 (利用者)	月													計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ふくし・ぱーとなー (11名)	6	1	1	2		2	5	1		1	1	1	21	
元気障害者ケアセンター (7名)	2				1	1	1		1		1	4	11	
茨城地域生活支援センター (3名)	2					1	1				1		5	
おうぎまち (3名)	1	1					2						4	
ふらぼーと秋桜 (1名)						1						1	2	
計	11	2	1	2	1	5	9	1	1	1	3	6	43	

## 5. 見学の受け入れ

感染症対策に十分に留意しながら、圏域のニーズに応える見学希望者の受け入れに努めた。

月 日 (曜)	ホーム	見 学 者	参 加 者	
			利用者	職 員
8. 4 (木)	なぎさ 風sun	さざなみ学園	3	1
計		1 回	3 名	1 名

## 6. 地域活動

コロナ禍のため、利用者は地域のイベントやクリーン活動に参加することができなかった。

### (1) イベント

月 日 (曜)	ホーム	イ ベ ント	参 加 者	
			利用者	職 員
		[活動なし]		
計		回	名	名

### (2) クリーン活動

月 日 (曜)	ホーム	活 動 場 所	参 加 者		
			利用者	世話人	職 員
		[活動なし]			
計		回	名	名	名

## 7. 外出代替テイクアウト

コロナ禍により、利用者の希望に応える日帰り外出を実施することができなかったが、移籍する利用者の歓送迎会を含めてテイクアウトを活用し、各ホームでの会食を楽しんだ。

月 日 (曜)	ホーム	発 注 先	利用者
12. 21 (水)	風sun	喫茶めぐ (特注弁当) <歓迎会>	4
8. 31 (水)	なぎさ	割烹しげよし 「陽光」	4
11. 18 (金)		割烹ささ川 (特注弁当) <歓迎会>	5
12. 22 (木)	風の丘	喫茶めぐ (特注弁当) <歓迎会>	5
11. 17 (木)	あらはま	カワキタフードサービス (特注弁当) <送別会>	3
4. 2 (土)	なかはま	盛来軒 (中華そば) [世話人調理]	5
10. 13 (木)	やまもと	割烹しげよし 「市松」	4
計			7 回 30 名

## 8. 避難訓練

各ホームにおいて、各種想定の下、年2回以上の避難訓練を実施した。

ホーム	月 日 (曜)	想 定 状 況				備 考
		時間帯	火災発生場所	地震の有無	世話人の有無	
風sun	5. 17 (火)	夜間	台所	有	無	
	9. 29 (木)	夕食前	台所	有	有	
なぎさ	5. 9 (月)	夜間	台所	有	有	
	10. 4 (火)	夕食前	台所	有	有	
風の丘	6. 16 (木)	夜間	台所	無	有	水 害 警戒区域
	7. 6 (水)	夕食前	豪雨想定	無	有	
	10. 12 (水)	夕食前	台所	有	有	
あらはま	4. 12 (火)	夕食前	台所	有	有	
	10. 19 (水)	夜間	台所	無	無	
なかはま	6. 9 (木)	夜間	台所	無	無	
	10. 20 (木)	夕食前	台所	有	有	
やまもと	4. 27 (水)	夕食前	台所	有	有	水 害 警戒区域
	8. 9 (火)	夕食前	豪雨想定	無	無	
	9. 8 (木)	夜間	台所	無	有	

## 9. 保健衛生

### (1) 健康保健教室

コロナ禍により、柏崎市健康推進課の保健師・栄養士を招聘する研修会を開催することができなかった。

月 日 (曜)	ホーム	内 容	参 加 者			
			利用者	保護者	世話人	職 員
		[開催なし]				
計		回	名	名	名	名

### (2) 入 院

利用者の入院はなく、ホームでの生活を送ることができた。

利用者	年齢	ホーム	医療機関	症 状	期 間	日 数
					[入院なし]	

### (3) 通院

職員の同行の下、利用者の医療機関への受診を支援した。

【健】健康診断      【内】内科      【精】精神科・脳神経内科・心身医療科  
 【外】外科      【整】整形外科      【脳】脳神経外科  
 【歯】歯科      【眼】眼科      【耳】耳鼻咽喉科  
 【皮】皮膚科      【泌】泌尿器科      【婦】婦人科

ホーム		月												計(名)
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
風sun	【健】		5	1										6
	【内】		3					1		1			1	6
	【精】										1			1
	【歯】										1			1
	【耳】												2	2
	【皮】					1	2	1		1				5
なぎさ	【健】		7	2										9
	【内】		1			1	1	2	2					7
	【精】	3		3		3	2	2	1	2	1	1	1	19
	【歯】					1	3			2	3			9
	【皮】			1	5	2	4					1	1	14
	【泌】			1										1
風の丘	【健】		4											4
	【内】							1						1
	【精】	2	2	1	2		3		2	1	2	1	3	19
	【歯】				1								1	2
	【婦】												1	1
なかはま	【健】		5											5
	【内】		1		1			1	2	1	1			7
	【整】				1								1	2
	【歯】	6	2	4	2		1	1	1		2	1		20
	【皮】	1			1			1			1	3	2	9
やまもと	【健】		2		1									3
	【内】	1	1	1	1	1		1	2	1	1		1	11
	【歯】							2	1		1	2		6
	【眼】										1			1
計(名)		13	33	14	15	9	16	13	11	9	14	10	14	171



## 10. 苦情相談

法人が定める「社会福祉法人柏崎刈羽ミニコロニーの提供する福祉サービスにかかる苦情解決体制整備等に関する規程」により、苦情解決の責任体制を明らかにして、相談に関する環境を整備した。

本年度は苦情の受付はなかったが、今後も利用者・保護者からの相談に傾聴し、真摯に対応する。

## 11. 事業計画等に対する評価

### (1) 縮充計画の漸進

利用者および保護者との連携の中で行政とも相談を重ねて、減員の進む「あらはまホーム」を、11月をもって閉所し、他5棟での再編成を図った。

再編成により「なぎさホーム」は、1階・2階を分けて男女混合棟に改編したが、日中活動先においては顔馴染みの利用者同士でもあり、昼夜ともに世話人の支援する中で安定した生活を提供する。

### (2) 健康面への配慮

2月に男性利用者2名に新型コロナウイルス感染症が、3月に男性利用者2名にインフルエンザA型が、それぞれ発生したが、支援員が看護にあたり、陰性者は世話人が支援することにより感染拡大を防いだ。

感染症への対応や突発的な体調不良等で通院が必要になった場合の職員確保のため、人員体制についての検討を続ける。

### (3) 余暇の支援

収束のみえないコロナ禍のため、利用者の希望する外出については、職員との約束事を設けながら近隣のスーパーマーケットやコンビニエンスストアへ出かけ、テイクアウトを活用して飲食を楽しんだ。

利用者の創作活動を応援し、市を中心とした作品展に出展した。今後とも、楽しみながら表現する時間を支援し、作品づくりに繋げる。

### (4) 世話人との連携

世話人と支援員が連携を図るため、世話人会議を有効に活用して、月例の会議では個別支援計画を中心に日頃の支援を振り返り、利用者の現状を把握するとともに生活の質の向上のため話し合いを継続した。

引き続き、支援員が各ホームへ定期的に訪問することにより、世話人との情報を共有するとともに、信頼関係の構築のため協調する。

### (5) 保護者および関係機関、地域との連携

利用者が主体的に暮らしていけるように、保護者および日中活動先、相談支援専門員等との情報を共有し協力し合うことができた。

松風の里において、月例でグループホーム関係職員連絡会議を開催し、当該年度および中・長期的な運営のあり方について検討する中で、継続して近隣や地域との連携を大切にする。

### (6) ライフステージに寄り添う支援

高齢になっても、日常生活動作および判断能力を保持できる身体状況のもと「なぎさホーム」男性利用者1名が、養護老人ホームへ移籍した。

今後とも利用者一人ひとりのライフステージに寄り添い、加齢化の進む利用者へは、利用者および保護者の意思を尊重しながら、それぞれにふさわしい生活態様を支援する。